

令和6年度 ハッピーハート新潟江南 自己評価総括表

保護者評価実施期間:令和6年10月1日~10月31日 保護者対象者数:27 回答:27

従業者評価実施期間:令和6年10月1日~10月31日 従業者対象者数:10 回答:10

	事業所の強みだと思われること (より強化・充実を図ることが期待されること)	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた支援や環境作りを行っていること。	専門的支援を通して、個々に合わせたより細やかな支援計画を作成し、実践するとともに、職員間で共有し普段の支援にも繋げています。環境面にも配慮し過ごしていきます。統一した支援方法、特性に合わせた支援を行っていただけるように情報共有や研修などを通してスキルアップを図っています。	個別支援計画書における支援経過の把握、振り返り、評価を行いながら、より個々に合わせた支援に繋げていく。 アセスメント力、気づく力を向上させ、情報共有の質を向上させていく。 職員間でお互いにより伝えやすい環境を整えていく。
2	個別活動、集団活動、外出の機会等を通して、経験を繰り返し積むことができていること。	同じ目的の活動でも内容や手段を変更しながら、経験を積み重ねていけるように工夫し、成長につなげています。個別で経験を積む延長線上に、集団の活動を計画することで、自信や達成感にもつながるように活動を計画しています。	現状必要なことだけを目的に活動を組み立てていくのではなく、将来をより踏まえた計画を立案し、視野の広い支援につなげていく。 単調な活動にならないように、アイデアを職員間で出し合う中で、目的についても共有を深めていく。
3	小学生から高校性まで幅広い年齢層がいることで、色々な人と関わる経験ができること。	活動や余暇を通して、やりがいや達成感を感じていけるように、互いに伝えたり、褒めあう機会を設けています。様々な人と関わる中で、個々の役割を設定したり、方法を知る機会などを持ち、人との関わり方等の社会性を自然と身につけていけるようにしています。	1人1人の支援で生じた課題等を次の支援の改善に生かしていく。

	事業所の弱みだと思われること (事業所の課題や改善が必要だと思われること)	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会や保護者向けの研修会を行う機会が乏しい。	相談事や情報提供について個別で対応するケースが多くなっていました。今後、保護者同士の交流や研修を提案していきたいと思っています。	保護者ニーズに合わせた研修会等を提供していく。 保護者との情報共有をより密に行っていく。
2	外出活動等を通して、地域と関わる機会を設けているが、より地域との関わりを持ち、拓かれた施設運営を行っていく必要がある。	活動時間や体制等の調整が難しく事業所行事等に近隣の方や施設の方を呼ぶ機会が設けられていなかった。	近隣施設等と行事活動や各種訓練を行うなどし、交流の機会を設けていく。 ボランティア等の受け入れを積極的に行いながら拓かれた施設運営を行っていく。